

“人材”こそ、富士通グループの最大の資産です。

従業員一人ひとりの能力を開発し、自立的なキャリア形成を支援するために、本人の希望や意欲を重視する新しい人事制度をスタートしています。また、国際社会に通用する人材開発をはかる企業内大学「FUJITSUユニバーシティ」の設立や、積極的な従業員環境教育の推進など、富士通グループはさまざまな局面で“人”という資産を育て続けます。

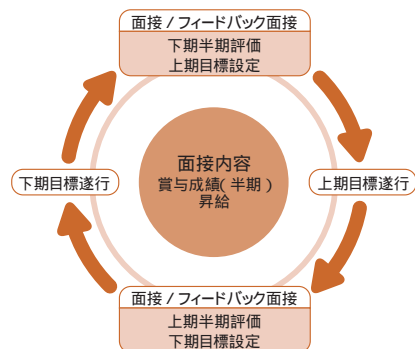
対象地域：日本国内

人事制度

成果評価制度

自分が出した結果(成果)が報酬に反映されなければ、仕事に対する意欲は生まれません。そこで、従業員が半年ごとに自分の業務目標を設定し、成し遂げた成果およびそのプロセスによって評価が決定し、その評価により報酬が決まる仕組みを導入しています。自らのキャリアやスキルを武器にはばたきたい そんな一人ひとりに“実力”という価値観で行動できるステージを提供するのが、成果評価制度なのです。

制度概念図



社内募集制度

さまざまなプロジェクトに求められるスキルを持つ人材を、社内イントラネットで募集します。従業員は希望するプロジェクトに応募し、自らキャリアを形成していくことが可能。一人ひとりの職務選択機会を拡げることで、よりチャレンジングな企業風土をめざします。

FA(フリーエージェント)制度

従業員が、自ら配属を希望する職場や職務を申請。希望先の職場は、面接により本人のスキルや経験を見極めた上で、受け入れの可否を決定します。本人の希望や意欲に応じて人事異動の可能性を拡げることで、従業員のキャリア形成を支援し、各

人のスキルや専門性、プロフェッショナルティの確立をはかります。

キャリアマネジメントサービス

ビジネスの環境が急激に変化する中では、高い目標や新しい課題に積極的に挑む自立した人材が求められます。そのためには、従業員が自らの意志でキャリアを形成することが重要です。こうした個人のキャリア開発をうながすため、キャリアデザインセミナーやキャリアカウンセリングを行い、それぞれの自己実現を支援しています。

その他の取り組み

インターンシップ制度、表彰制度、育児休職制度、介護休職制度、リフレッシュ休暇、社外派遣留学制度、ナイスライフセミナーなど

人材開発(従業員教育)制度

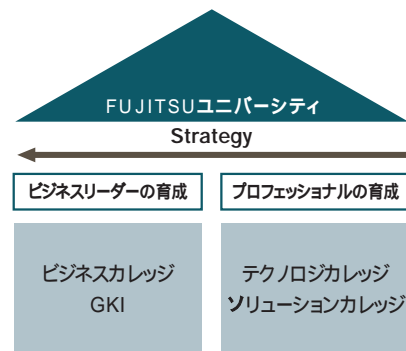
FUJITSUユニバーシティ

2002年4月、富士通グループ全体の長期的視野に立った人材育成を行うために設立されました。激変するグローバルマーケットの中で発展し続けるためには、明日のビジネスを支える人材の育成が不可欠です。FUJITSUユニバーシティでは、次の3点を基本に、「業界をリードする高度人材の育成」を行うことを使命としています。

- ・お客さまに高い付加価値を提供できる「プロフェッショナル」の育成
- ・グローバルビジネスを強力に推進する「ビジネスリーダー」の育成
- ・トータルプロバイダとしての「ベースライン¹」の強化

¹ ベースライン：富士通グループのあらゆるビジネスのベースとして、全社員が共有すべきバリュー、スキルを表します。

FUJITSUユニバーシティの構成



ビジネスカレッジ

全社重点教育や階層別教育、グローバル教育などにより、ベースラインの強化を推進します。

GK(グローバル・ナレッジ・インスティテュート)
グローバルな知識ベースでの競争下で活躍するビジネスリーダー育成の教育を行います。

テクノロジカレッジ

技術知識とスキル、自ら課題を設定し解決する力を備えた、事業部門のエンジニアを育成します。

ソリューションカレッジ

各部門と連携して、プロフェッショナルティの高い営業・SEを育成します。

FUJITSU NetCampus

富士通グループにおける教育の総合プラットフォームです。従業員は2000を超える教育プログラムの中から自分が必要とする講座を検索し、申し込みできます。また、eラーニング²も本システムにより受講できます。



Web画面

従業員環境教育

全員参加の環境活動を推進していくための基盤として、従業員一人ひとりの環境保全の意識を高め、実行をうながすために、さまざまな環境教育・啓発を実施しています。

リテラシー教育

全部門に共通の教育です。各階層に応じ、環境問題についてベースラインとなる知識を身につけます。座学教育およびeラーニング教材を用いた融合教育を実施。2003年度より幹部社員向けのeラーニング教育も実施します。



eラーニング教材「環境の基礎」(新入社員向け)

技術教育

専門領域に応じた技術的・専門的な教育です。設計部門、営業部門、環境管理部門、内部監査員など、各部門の職域に応じて環境に配慮した業務を行うための教育を実施。座学に加え、2003年度よりeラーニング化を推進します。



環境管理部門向け教育

企業・自治体向け環境eラーニングコースを販売開始

環境コンサルタント「イースクエア」と共同開発)

富士通と富士通ラ・ニングメディアは、富士通の先進的な環境活動の実践の過程で蓄積されたノウハウをもとに、社内向け環境eラーニングを実施してきました。この度、富士通ラ・ニングメディアのeラーニングに関する豊富な実績・ノウハウと、環境コンサルティングのトップカンパニーであるイースクエアの優れた知見を結集し、一般企業・自治体のお客さま向けに、基礎分野を充実させた総合環境eラーニングコースを開発。富士通の環境ソリューション「@ECOVISION」¹の一環として、販売を開始しました。

【本商品の主な特長】

- ・環境問題の基礎知識から環境マネジメント実務までを対象とした幅広い学習内容
- ・音声・動画をふんだんに活用したわかりやすい操作画面
- ・段階ごとのテスト実施により、受講者一人ひとりの学習進度の把握・管理が可能
- ・優れたカスタマイズ性によりお客さまのニーズに柔軟に対応

¹ @ECOVISIONの説明についてはP37,38をご覧ください。

その他の教育

外部講師による講演会

2002年11月には、江戸学に造詣の深い作家の石川英輔氏をお招きし、「「環境先進国」江戸時代に学ぶ」と題して実施しました。



作家の石川英輔氏をお招きした講演会(富士通川崎工場)

グループ会社での教育

たとえば、新光電気工業では、新入社員導入教育などの階層別教育を実施しています。一般教育として国内営業所などへのWeb教育を試行し、集合教育とともにeラーニング化を推進し始めています。



新入社員導入教育(新光電気工業)

海外拠点での取り組み

富士通サービスでは、eラーニング教材を活用してISO14001内部監査員教育を実施しています。また、製造拠点とする関係会社では、業務に関連した環境教育活動を推進しています。



教育用資料(富士通サービス)